

学校紹介
新聞

潮来市立 日の出小学校



- ◆校長 五喜田満
- ◆児童数 308人
- ◆創立 1982年
- ◆住所 潮来市日の出 3の12の1

がんばっています！



プランターに花を植えたり、土を入れたりする5年生

花植えて雰囲気明るく



日の出小学校の花壇には、色とりどりの花がたくさん植えられています。その花は、日の出小学校の全校児童で植えています。花はプランターに植え、鼻脇の周りに置いたり、学校内にある、「サニーちゃんの森」という場所の花壇にも植えたりしています。

花は、パンジー、ヒオラ、ノースポールなどがあり、季節によって変わります。花を植えるときの土を運ぶ作業や、植えてからの水やりは大変ですが、色の組み合わせを考えた花選びや、実際に土に触れながらの作業はとても楽しいです。自分たちが植えた花を見ると、とてもいやされ、学校の雰囲気も明るくなります。きれいな花や、植物を枯らさないように、水やりや草抜きなどのお世話を忘れず、これからもがんばっていきたいです。(5年 佐藤七羽)



こんな学校です！



二つの校舎の間にある「サニーちゃんの森」

自然が身近、元気に生活



酒井結菜



菅原菜那

日の出小学校は、たくさんの自然に囲まれて、どの学年も元気に生活しています。

日の出小学校は、校舎が北棟と南棟に分かれています。その間に「サニーちゃんの森」という場所があり、春はモンシロチョウ、夏はミンミンゼミ、秋は赤トンボなど、木や花、虫に魚などいろいろな生き物がすんでいます。

低学年は、虫を捕まえて来たり、小さな魚を見に来たりと、よく「サニーちゃんの森」に遊びに来ています。

それ以外にも、お花や野菜を育てたり、落ち葉を集めたり、生き物を観察したり、授業の中で自然と触れあう時間もあります。

私たちは、たくさんの生き物や植物の力を借りて生活しています。これからも共に生きていく仲間だから、日の出小学校にいる人たちにも、守り続けてほしいと思います。(6年 酒井結菜、菅原菜那)



第1回縦割り班で、自己紹介(しょうかい)をする下級生と上級生

縦割り班活動

みんなで遊び絆深める



宮本杏



横地佐和子

日の出小学校の縦割り班活動の時間は、「さんさんタイム」といいます。学校名から太陽(SUN)が由来になっています。「さんさんタイム」は、校庭や教室で行われます。6年生が中心となってみんなでできる遊びを考え、縦割り班のリーダーを務めます。鬼ごっこやドッジボールなどが人気です。上級生が手かけたり、軟らかいボールにしたりとみんなで楽しめるように工夫をしています。

3学期になると、6年生が5年生にリーダーの引き継ぎをします。遊びのルール決め方や遊びの進め方などを教えます。みんなが仲良く遊ぶ縦割り班活動を通して、上級生と下級生の絆が深まります。(5年 宮本杏、横地佐和子)

学校間交流

友達と「いじめ」を考える



私たちは、小中連携事業で昨年12月9日に日の出中学校で行われた人権フォーラムに参加しました。テーマは学校生活での人権問題である「いじめ」についてでした。

前半は、中学校の生徒会役員の方が作成したスライドをもとに、友達と意見や考えを出し合い交流しました。この交流で、自分では気付かない考えを知ることができました。スライドの内容で印象に残ったことは、「いじめをして、友達を自死まで追い詰めた」「友達を助けることができなかった」という気持ちを一生思いつづけることです。こんな思いをしないためにも相手の気持ちを考えて、発言することや行動することが大切だと思います。後半は、中学生と交じて「いじめ」についてのクイズをしました。クイズを通して、「いじめ」について知ることができました。(6年 松丸凌久)

人権フォーラムで、グループになって意見を交換し、潮来市立日の出中学校



次回は3月5日 茨城県立水戸飯富特別支援学校です

いつでもどこでも

茨城新聞 ダブルプラン

茨城新聞 + 電子版 セット

紙の新聞は自宅で読みたい。県外の出張先でも読みたい。受験や就活中の子どもにも読ませたい。そんなあなたにぴったり!

新聞購読料+月額300円(税込)

合計月額4,100円(税込) ※電子版単体の場合は月額3,500円(税込)

電子版の魅力

- 独自記事 / デジ缶**
紙面に入りきれない内容を提供する電子版オリジナルコンテンツ。日本選手大リーグなどスポーツの話題から政治問題、社会問題まで幅広く旬の話題がぎゅっと詰まった*缶詰。です。
- 電子版コラム**
連載コラム「好文木」(毎週水曜配信)では自慢の執筆陣が独自の視点で県内の話題や世相に斬り込みます。
- 写真で見る茨城**
茨城新聞社のカメラマンが撮ったよりすぐりの決定的な瞬間を紹介します。

(ダブルプランお申し込み時の注意事項)

- ご自宅で茨城新聞を販売店から定期購読している個人の読者様限定です。 ■茨城新聞のご購読が確認でき次第、電子版のご利用ができます。県外の方は利用できません。
- お申込みは購読者ご本人によるインターネットからの申し込みとさせていただきます。 ■茨城新聞をご契約の販売店が新聞購読料と合わせて集金します。
- 電子版の利用期間は月単位となります。月中での申し込みの場合、その月は無料で利用できます。また、電子版の日割り精算は受け付けておりません。
- 茨城新聞電子版はAndroid、またはiOS用のアプリになりますので、基本的にパソコンでご覧になることは出来ません。

茨城新聞ダブルプランのお申し込みはこちら→

【お問い合わせ】茨城新聞社販売局 Tel.029(239)3030 平日9:30~17:00